

第362回教育研究評議会議事要録

1. 日時 令和3年8月3日(火) 13:30~15:50
2. 場所 大会議室(一部web参加)
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
三上理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長、
初澤人間発達文化学類長、井實評議員、中村評議員
垣見行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
末吉経済経営学類長、岩井評議員、福富評議員
長橋共生システム理工学類長、神長評議員、柴崎評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】緑川理事、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 高橋理事

5. 議事

【確認事項】

第361回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 大学院の改革について

塩谷理事・副学長から、資料4に基づき、教員配属確定に向けた各研究科との意見交換結果及び今後の対応の説明、「各研究科共通前文」、「地域デザイン科学研究科の設置の趣旨及び必要性」及び「各専攻のミッションと育成する人材像」に係る骨子の提案、「定員規模」及び「設置準備室メンバー」の確認があった。また、佐野副学長より、定員未充足対策WGによる「中間報告」の説明があった。

このうち「 」に関して、初澤人間発達文化学類長及び長橋共生システム理工学類長より、教員配属変更後に退職者が生じた場合の教職科目の保証及び教員定数の取扱いについて意見した旨指摘があり、資料4-1の一部修正として確認した。

また、質疑応答の中で、(1)教員配属変更後の兼担及び学類と大学院配属先のねじれに関する考え方、(2)共生システム理工学専攻のミッションにおける数学及び理科の担当教員の位置づけ、(3)定員未充足対策WGの今後の検討スケジュール、(4)設置準備室の役割についての質問及びスケジュールの早期提示についての要望があった。

「(1)」については、塩谷理事・副学長から、兼担は学類と大学院の配属先のねじれが解消するまで続くことを想定しているが、どのような形で解消するかは大学院改革の議論とは別に今後議論していくものであるとの説明があった。

「(2)」については、長橋共生システム理工学類長から、共生システム理工学専

攻のミッションは専門性の幅が広いと記載していない分野もあるが、記載していないことが、実施しないことに直結するわけではないとの説明があった。

「(3)」については、佐野副学長から、最終報告の前に定員規模に関する検討の報告を行う予定であること、また、9月に企業向け・学生向け等のアンケートを行う予定であり、WGはこれの原案を作成し、各設置準備室に実施いただくことの説明があった。また、三浦学長より、定員未充足対策WGの報告を有効に活用するため、アクションプランのように全学的に実行するものや各研究科が対応するもの等、整理いただきたいとの意見があった。

「(4)」については、三浦学長及び佐野副学長から、設置準備室では大学院改革の根拠資料に関する議論のやり取りやアンケート調査の作業等を行う予定であるとの説明があった

審議の結果、資料4 - 1を修正の上、提案のとおり承認され、各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) 調査委員会の設置について

三浦学長から、資料5に基づき、調査委員会の設置について提案があった。
審議の結果、提案のとおり承認された。

【報告事項】

(1) 令和3年度 foR プロジェクトの指定について

二見理事・副学長から、資料1に基づき、令和3年度に指定された foR プロジェクト4件について報告があった。引き続き、各研究内容について発表があり、中田人間発達文化学類准教授から、「福島型 STEAM 教育の開拓」について、藤原経済経営学類准教授から、「官学連携による『住民参加型行財政システム』の構築に向けた実証的研究 -人材育成に向けた『公共政策プログラム』の開設を通して- 」について、大山共生システム理工学類教授から、「脱炭素型エネルギーシステムの構築：水素をつくる・つかう技術の多様化」について、松田食農学類教授から、「ゲノム科学・技術を援用した栽培・発酵好適性イネ科の開発基盤研究」について説明があった。

(2) 令和3年度福島大学研究・地域連携成果報告会（会津若松）の開催について

二見理事・副学長から、資料2に基づき、9月26日（日）に会津若松市で開催する研究・地域連携成果報告会について報告があり、参加の依頼があった。
学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(3) キャリアセンター設置に向けての検討について（中間報告）

小野原基盤教育主管から、資料3に基づき、キャリアセンター設置検討WGの中間報告があり、検討課題及び検討スケジュール、共通目標に基づくキャリア教

育及びキャリア支援、専任教員の業務内容、今後のスケジュールについて説明があった。

学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。